

上下顎のバランス

睡眠時無呼吸症候群をとりまく病気

2011年9月

口蓋垂（のどちんこ）から軟口蓋へと話は進んで、今月は軟口蓋が付着している上顎に注目します。上顎、すなわち上あごのことです。顔の構造は、一階が口、二階が鼻、三階が眼です。上顎は一階と二階の間の天井に相当します。

日本の花、「桜」は花が咲いてから葉が出ますが、「山桜」だけは葉が花より先です。葉（歯）が花（鼻）より先ということで、上顎前突（出っ歯）のことを山桜ということもあるそうです。

さて、上顎前突（出っ歯）や下顎前突（受け口）は何を基準に診断するのでしょうか。歯列矯正を行う場合は顔の表面を観て上顎と下顎の凸凹で診断するのですが、睡眠歯科では咽頭の凸凹（さしずめ裏顔？）を基準に診断します。矯正の先生が下顎前突（下顎が出ている）と診断しても睡眠歯科では上顎後退（上顎が下がっている）と診断することもあります。右写真は下顎前突に見えますが実は上顎が後退、左写真は上顎前突に見えますが実は下顎後退です。異常な部位を間違えて治療すると、医原性の睡眠呼吸障害を来たします。歯の矯正治療を受ける時には必ず「裏顔」の診断を受けることをお勧めします。

